

施策目標に関する市民意識調査報告書

(概要版)

平成 29 年 8 月

まちづくり政策局

1. 調査概要

調査対象：仙台市に居住する満 18 歳以上の男女 6,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）

調査方法：無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

調査期間：平成 29 年 5 月 19 日～平成 29 年 6 月 6 日

調査項目：仙台における住みやすさ、基本計画に基づく施策の評価、力を入れるべき施策など

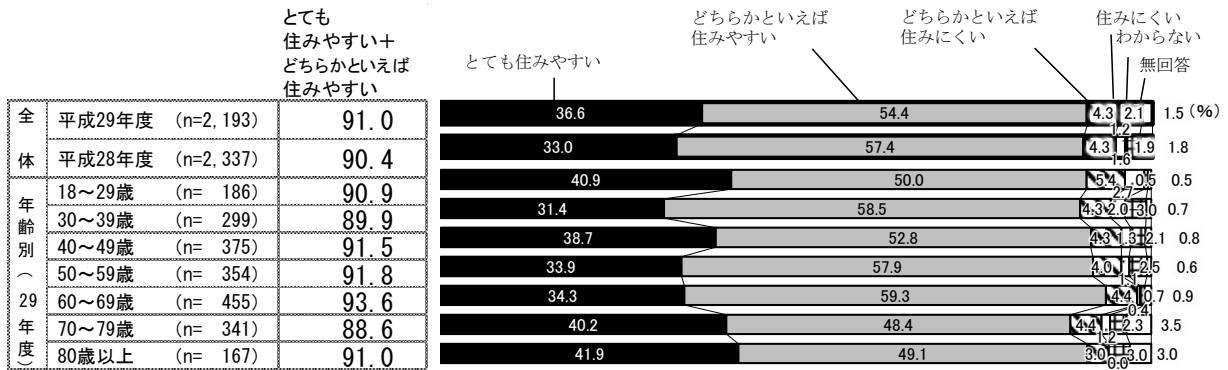
有効回収数(率)：2,193 人 (36.6%)

2. 調査結果

(1) 仙台市における住みやすさなど

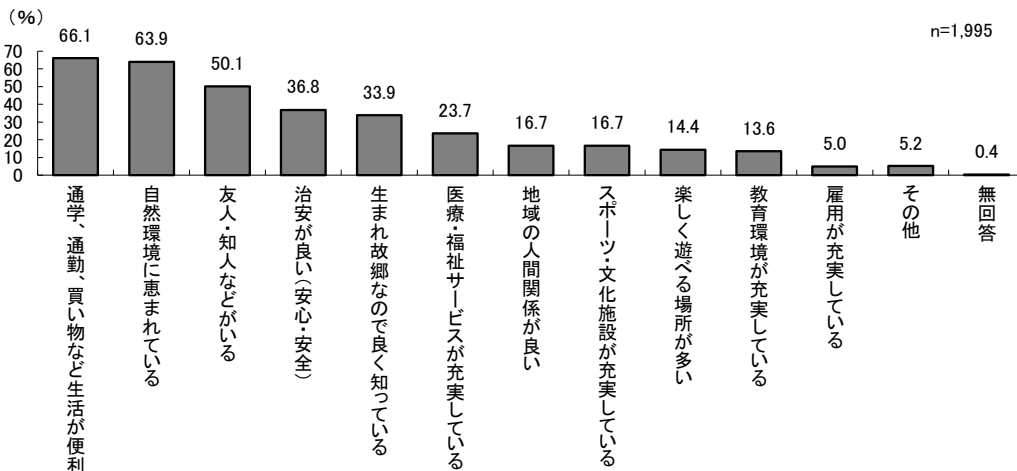
① 仙台市の住みやすさ

- ・ “とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい” は 9 割以上と、多くの方が評価をしている。
- ・ 年代別で見ると、18～29 歳、70 歳以上において “とても住みやすい” が 4 割を超えている。
- ・ 昨年度と比較すると、数値にほぼ変化はなく、同様に高い評価となっている。



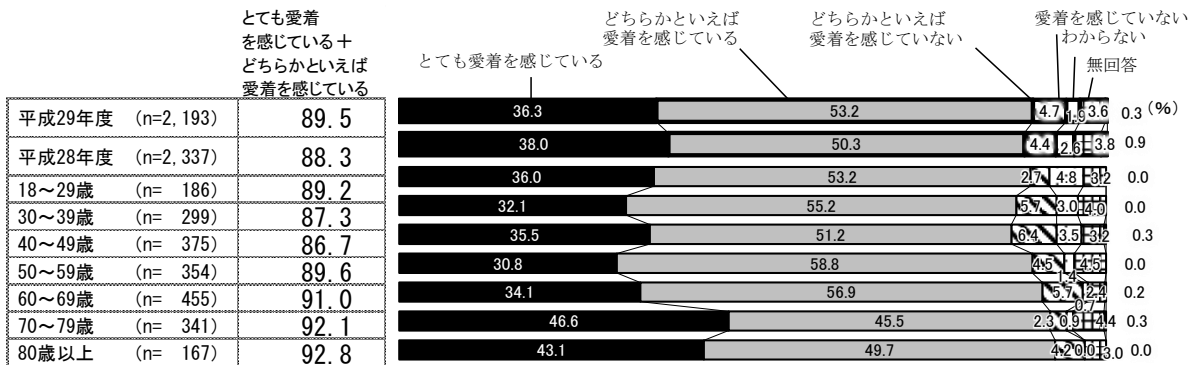
<住みやすいと思う理由>

- ・ 住みやすいと思う理由として「通学、通勤、買い物など生活が便利」、「自然環境に恵まれている」と回答した割合が 6 割を超えている。



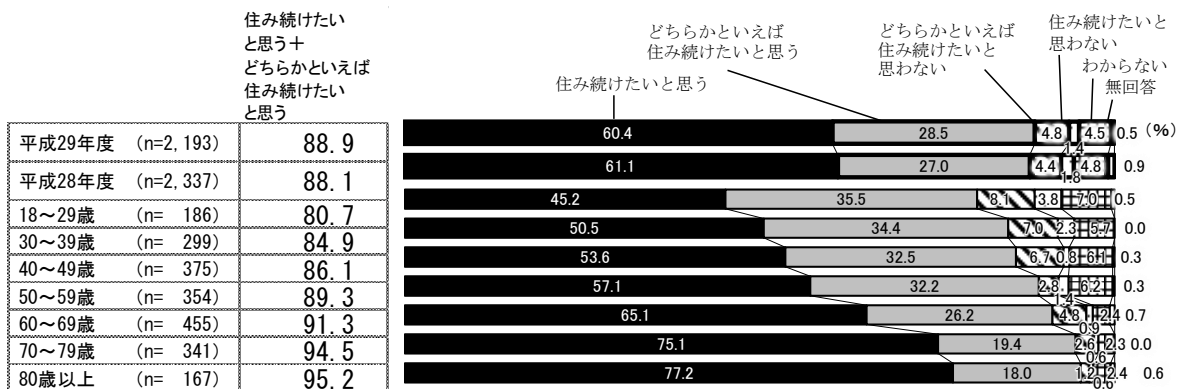
② 仙台市への愛着

- ・“とても愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている”は9割近くと、多くの方が評価をしている。
- ・年代別に見ると、40歳代が他の年代と比べ、やや少なくなっている。
- ・昨年度と比較すると、数値にほぼ変化はなく、同様に高い評価となっている。



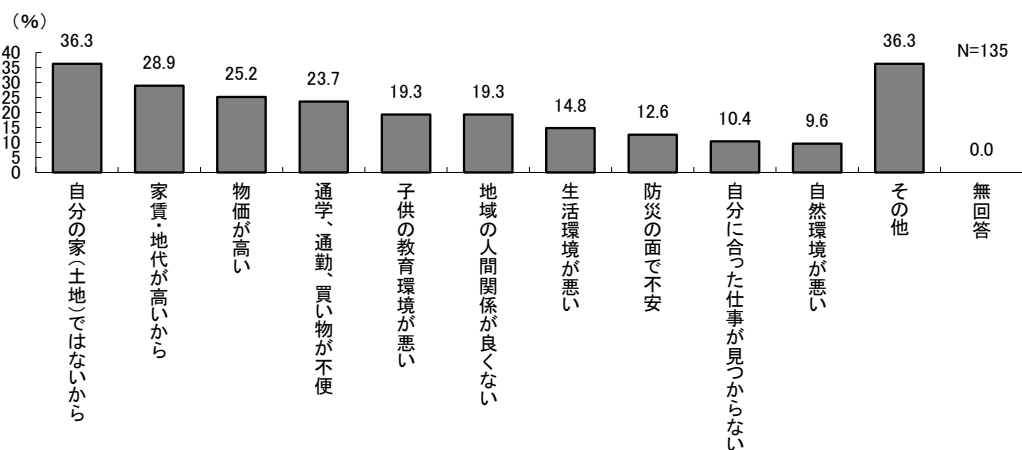
③ 今後の仙台市への居住意向

- ・“住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う”は9割近くと、多くの方が評価をしている。
- ・年代別に見ると、「居住意向」は年齢が高くなるほど「住み続けたいと思う」割合が高くなる傾向が見られ、80歳以上で8割近くとなっている。
- ・昨年度と比較すると、数値にほぼ変化はなく、同様に高い評価となっている。



<住み続けたいと思わない理由>

- ・住み続けたいと思わない理由として「自分の家（土地）ではないから」が最も多く3割を超えている。以下「家賃・地代が高いから」、「物価が高い」、「通勤、通学、買い物が不便」が2割台で続いている。



※「その他」の主な回答は、「住み続けたい理由がない・他都市に住んでみたい：10件」、「税金が高い：3件」、「モラルがない・マナーが悪い：2件」など

(2) 基本計画に基づく施策の進捗状況

①項目別評価の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が高い上位5項目

・昨年度と同様に、文化・スポーツ関連の項目が高く評価されている。

平成 29 年度			【参考】平成 28 年度※			
1位	文化 スポーツ	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	82.8%	文化 スポーツ	仙台七夕祭りや仙台国際ハーフマラソンなど様々なイベントを活かした仙台ブランドづくり	79.1%
2位	文化 スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	73.6%	環境	ごみ減量・リサイクルの推進など、資源を有効に循環させる都市づくり	67.1%
3位	環境	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	71.7%	文化 スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベントなどを観ることができる環境づくり	65.5%
4位	安全 安心	医療サービスや救急医療体制の充実	67.3%	文化 スポーツ	「せんくら」や中心市街地でのアートイベントの開催など、文化芸術に触れられる環境づくり	65.3%
5位	医療 福祉	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	65.8%	自然	市街地の緑化や公園整備など、杜の都の緑を守り育む「百年の杜づくり」の推進	64.2%

※平成 29 年度から設問の構成や内容を変更しているため単純比較はできないが、参考情報として掲載。

②項目別評価の“評価しない+どちらかといえば評価しない”の割合が高い上位5項目

- ・「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」をはじめ、教育関連の項目の評価が厳しく評価されている。
- ・「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」は“評価しない+どちらかといえば評価しない”が 36.5%である一方、“評価する+どちらかといえば評価する”が 53.4%と評価が分かれている。

平成 29 年度			【参考】平成 28 年度※			
1位	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	59.8%	交通	歩道整備や自転車の安全 利用等の交通安全対策や防犯対策など、地域の安全 対策の充実	50.8%
2位	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	36.5%	高齢者	特別養護老人ホームなどの介護サービス基盤の整備や、地域が高齢者を支える 環境づくり	44.0%
3位	教育	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	34.8%	災害	地震や集中豪雨などの災害への対応力の強化	40.8%
4位	男女 共同	働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用等、企業等における女性の活躍推進	33.5%	男女 共同	男女平等意識の醸成や育児・介護と仕事の両立など、男女共同参画の推進	38.6%
5位	産業	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	30.5%	交通	鉄道やバスなどの公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	38.4%

※平成 29 年度から設問の構成や内容を変更しているため単純比較はできないが、参考情報として掲載。

③ “今後、特に力をいれていくべき施策” の割合が高い上位5項目

- ・ 1位の「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」は、“評価しない+どちらかといえ
ば評価しない”でも同様に1位となっている。
- ・ 3位の「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」は、“評価しない+
どちらかといえれば評価しない”でも2位となっている。
- ・ 4位の「大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」は、
“評価する+どちらかといえれば評価する”でも52.5%と高い評価となっているため、評価はするが引き続き
力を入れていくべき施策という結果となっている。
- ・ 5位の「医療サービスや救急医療体制の充実」は、“評価する+どちらかといえれば評価する”では4位とな
っているため、評価はするが引き続き力を入れていくべき施策という結果となっている。

平成 29 年度				【参考】平成 28 年度*		
1 位	教育	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	54.1%	子育て	保育所の整備や延長保育・一時預かりの充実など、安心して子育てができる社会づくり	49.3%
2 位	高齢者	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	49.2%	交通	鉄道やバスなどの公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.6%
3 位	交通	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4%	安全 安心	医療サービスや救急医療体制の充実	37.5%
4 位	まち づくり	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	36.3%	高齢者	特別養護老人ホームなどの介護サービス基盤の整備や、地域が高齢者を支える環境づくり	36.7%
5 位	安全 安心	医療サービスや救急医療体制の充実	36.2%	交通	歩道整備や自転車の安全利用等の交通安全対策や防犯対策など、地域の安全対策の充実	32.6%

※平成 29 年度から設問の構成や内容を変更しているため単純比較はできないが、参考情報として掲載。

平成 29 年度 施策目標に関する市民意識調査（市民アンケート）集計結果（概要版）

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3 丁目 7 番 1 号 TEL 022-214-1268